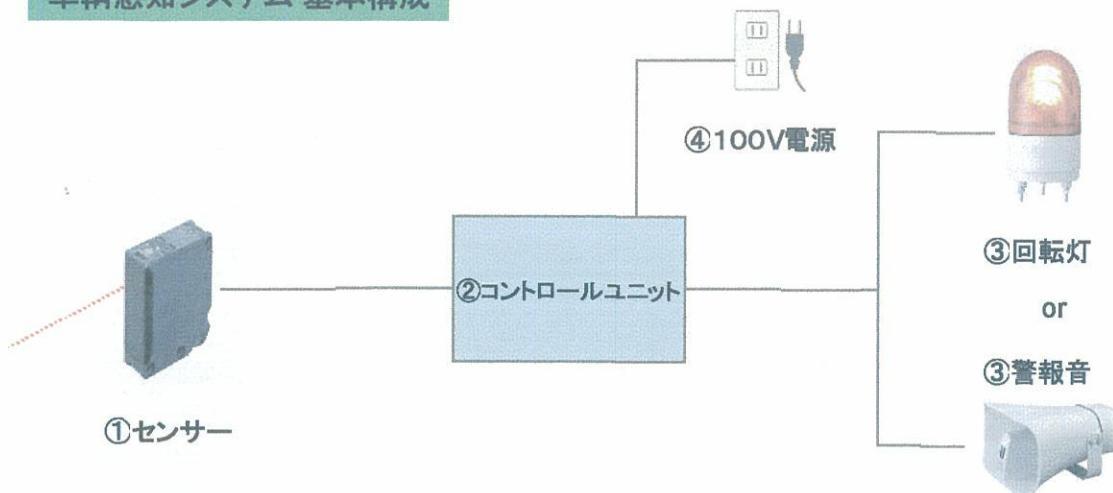


システムの基本構成と概要

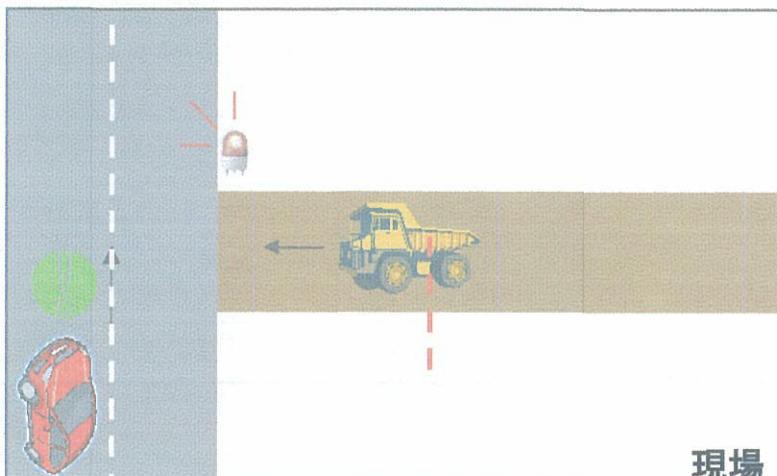
車両感知システム 基本構成



«POINT»

- ① 車両や人も感知できる赤外線センサーを使用。
検出距離は2.5m
- ② センサーからの信号を処理。出力へ信号を送る
- ③ コントロールユニットからの信号を受け取り回転灯(視覚)
または警報音(聴覚)にて周囲へ警告する。各出力部の
稼動時間はコントロールユニット側で制御可能
- ④ 電源部。基本構成は100V仕様。電源供給が困難な現場
ではソーラーシステム(オプション品)を活用

車両感知システム 概要



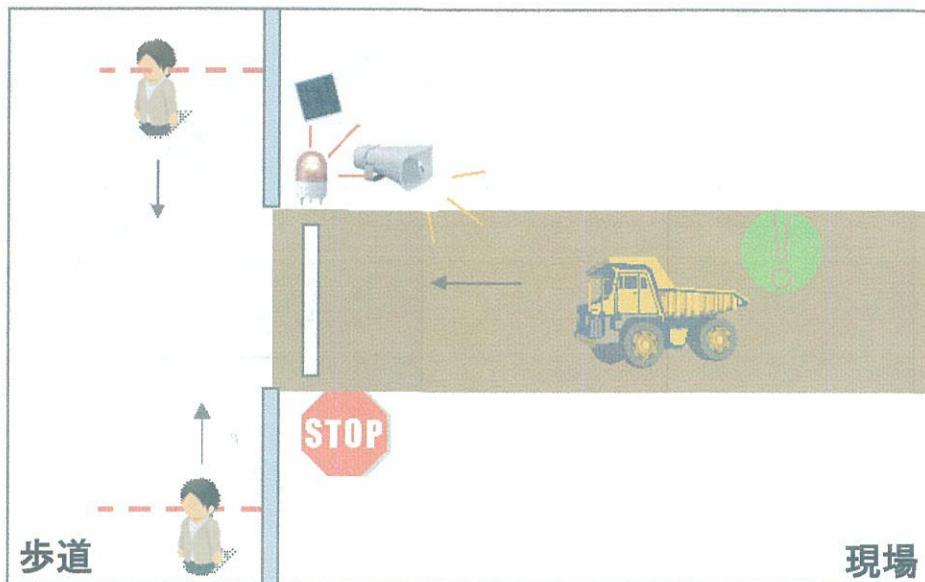
«POINT»

工事車両が現場から一般道に進出しようとしていることを一般車両に知らせ、一般車両・作業車両共に注意を促す。
ほとんどの現場には誘導員が常駐していると思いますが
当システムはその補助的意味合いのシステムです。

運用実例ご紹介(Ⅰ)

I. 車輌(歩行者)感知システム

※札幌営業所/Mz原田様現場、他3現場にてご活用



《POINT》

現場の外にセンサーを設置し現場内にて注意を促す。
特に作業車輌のドライバーへの前方確認を促す設置方法。
主に現場をフェンス等で囲っていて車輌の進退出の際、歩道や一般道路の左右確認がしづらい現場向け